



## 2013年2月期 中間決算説明会

株式会社 オンワードホールディングス

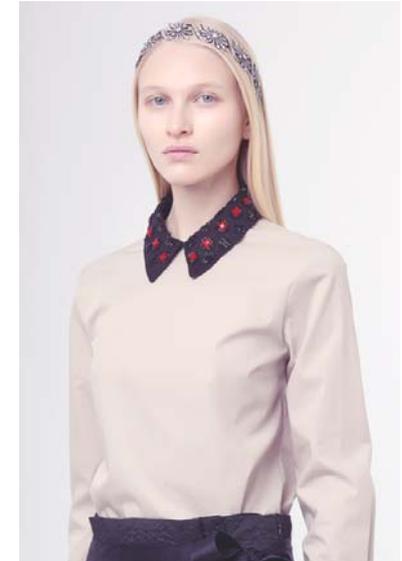
The global staff of Onward presents a highly sensitive international brand for contemporary fashion-loving women.



## 決算概要



## 業績予想



JIL SANDER NAVY 2012A/W

連結業績.....	2
連結P/L(実績).....	3
地域別の実績.....	4
国内事業総括.....	5~6
海外事業総括.....	7

連結業績予想.....	8
連結P/L(予想).....	9
地域別の予想.....	10
国内事業計画.....	11~12
海外事業計画.....	13

TOPICS.....	14
-------------	----

## DATA BOOK



## 売上高

1,209億円

(前年比 + 6.3%) (計画比  $\Delta$ 1.7%)

## 営業利益

32億円

(前年比 +97.5%) (計画比 +21.4%)

## 経常利益

37億円

(前年比 +50.6%) (計画比 +6.3%)

国内事業は積極的な拡大施策を進め  
計画を上回る利益で増収増益  
海外事業は課題を残す結果となる

# 2013年2月期上期 連結P/L (実績)

(百万円)

	上期実績				上期計画		
	02/13実績	02/12実績	増減	前年比 (%)	02/13計画	増減	計画比 (%)
売上高	120,886	113,693	7,193	6.3%	123,000	△2,114	△1.7%
売上総利益	57,749	53,532	4,217	7.9%	58,400	△651	△1.1%
売上総利益率 (%)	47.8%	47.1%		0.7%	47.5%		0.3%
営業費	54,592	51,933	2,659	5.1%	55,800	△1,208	△2.2%
営業费率 (%)	45.2%	45.7%		△0.5%	45.4%		△0.2%
営業利益	3,157	1,599	1,558	97.5%	2,600	557	21.4%
営業利益率 (%)	2.6%	1.4%		1.2%	2.1%		0.5%
経常利益	3,722	2,471	1,251	50.6%	3,500	222	6.3%
経常利益率 (%)	3.1%	2.2%		0.9%	2.8%		0.3%
特別利益	7	1,068	△1,061		0	7	
特別損失	157	1,319	△1,162		400	△243	
当期純利益	522	76	446	586.8%	500	22	4.4%
当期純利益率 (%)	0.4%	0.1%		0.3%	0.4%		

# 2013年2月期上期 地域別の実績

## 単純合算（相殺消去前）

(百万円)

売上高	上期実績			上期計画	
	02/13	02/12	前年比 (%)	02/13計画	計画比 (%)
HD+オンワード樫山	73,201	68,455	6.9%	74,600	△1.9%
その他国内	34,676	31,036	11.7%	35,454	△2.2%
国内計	107,877	99,491	8.4%	110,054	△2.0%
欧州	15,278	16,879	△9.5%	16,733	△8.7%
アジア	3,101	3,036	2.1%	3,272	△5.2%
米国	1,758	1,431	22.9%	1,588	10.7%
海外計	20,137	21,346	△5.7%	21,593	△6.7%
売上高 合計	128,014	120,837	5.9%	131,647	△2.8%

## 売上高

- オンワード樫山は、8月の残暑による秋物立ち上がりの不振とセール売上減少に伴い、計画値を下回る
- その他国内は、クリエイティブヨーコ等、戦略的な店舗スクラップにより、売上減少
- 欧州地区は為替レート変動による換算差額△25億円

## 売上総利益

- オンワード樫山は、基幹ブランドが好調に推移  
夏物セール時のプロパー売上の拡大により、粗利益率が向上
- その他国内は、アジア生産の拡大等により  
オンワード商事の粗利益率が改善
- 欧州/アジアは、在庫評価損の増加により粗利益率が低下

## 営業費

- 国内/海外ともに経費管理を徹底することで  
計画値を下回る

## 営業利益

- 国内事業が海外事業のマイナスを補い、計画値を上回る利益を達成

営業利益	上期実績			上期計画	
	02/13	02/12	前年比 (%)	02/13計画	計画比 (%)
HD+オンワード樫山	2,985	1,819	64.1%	2,200	35.7%
その他国内	1,945	1,529	27.2%	1,912	1.7%
国内計	4,930	3,348	47.3%	4,112	19.9%
欧州	△ 685	△ 457	↘	△ 248	↘
アジア	164	150	9.3%	284	△42.3%
米国	0	△ 102	↗	△ 86	↗
海外計	△ 521	△ 409	↘	△ 50	↘
営業利益 合計	4,409	2,939	50.0%	4,062	8.5%

※ 事業セグメントの営業利益に近づけるため、一部子会社が含まれていた「のれん代」を当ปีก่อน年に除いております。これにより、全ての子会社において「のれん代」が含まれておりません。

# 2013年2月期上期 国内事業総括

■ 売上高 1,079億円 (前年比 +8.4% 計画比 Δ2.0%)

■ 営業利益 49億円 (前年比 +47.3% 計画比 +19.9%)

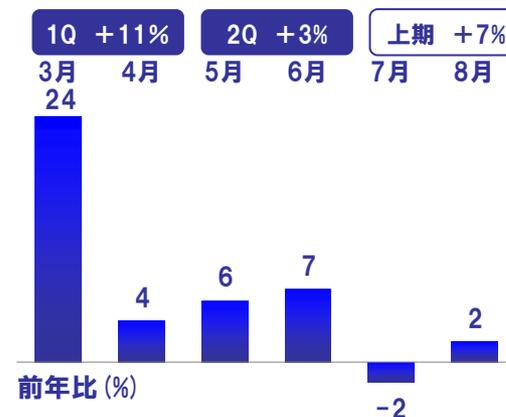
## オンワード樫山

売上高 732億円(前年比 +6.9%) 営業利益 30億円(前年比 +64.1%)

	第1四半期			第2四半期		
	実績	前年比		実績	前年比	
		差額	(%)		差額	(%)
売上高	409	+39	+10.6	323	+8	+2.6
売上総利益	217	+24	+12.4	147	+7	+5.3
売上総利益率(%)	53.0%		(+0.8)	45.6%		(+1.2)
営業費	167	+12	+7.5	167	+8	+5.1
営業利益	50	+12	+33.0	△20	△1	↘

(億円)

上期計		
実績	前年比	
	差額	(%)
732	+47	+6.9
364	+31	+9.5
49.7%		(+1.1)
334	+20	+6.3
30	+12	+64.2



### 第1四半期

商品企画の向上や積極的なプロモーションにより、基幹ブランドを中心にスプリングコートやクールビズ等の戦略商品が好調に推移/プロパー売上の拡大により粗利益率が向上し、計画以上の増収増益を達成

### 第2四半期

プロパー売上の大幅な拡大により、計画以上に粗利益率の改善が図れたが、8月の残暑による秋物立上りの不振とセール売上減少により売上計画を下回った

2Qにおける前売  
(売上構成比約85%)

	2Q計	構成比
プロパー	+4%	+2%
バーゲン	△4%	△2%

■ Eビジネスは、取扱いブランドやアイテムの拡大に伴い、通期計画35億円に対して計画以上の進捗が図れた

■ 主要6ブランドによる「小売型ブランドビジネス」の導入については、事業施策は順調に推移したが、具体的な成果は下期以降に

## 国内子会社

売上高 347億円(前年比 +11.7%) 営業利益 19億円(前年比 +27.2%)

### □ オンワード商事 (ユニフォーム・セールスプロモーション商品等)

・ 新規大型案件の受注やアジア生産拡大等による粗利益率改善により、ユニフォーム、セールスプロモーション、その他の全事業で計画以上の増収増益を達成/ 中国(上海)での新規事業は順調にスタート

### □ チャコット (舞台・演劇・バレエ用品等)

・ Kバレエ団との取組みによるキャンペーン効果や外商営業の導入により、売上が伸張し増収増益を達成

### □ クリエイティブヨーコ (ペット関連用品等)

・ インターネット販売の拡大により、粗利益率が計画以上に改善し増益となったが、不採算店舗のスクラップにより売上高は前年を下回った

### □ バスストップ (輸入セレクト衣類・雑貨等)

・ 旗艦路面店と戦略店舗(渋谷ヒカリエ)が計画通りに推移し増収となり、黒字となった

### □ アイランド (婦人服・雑貨等)

・ 積極的な新規規店舗の拡大により売上高が伸長した一方、在庫の適正化による期末評価損の増加により、粗利益率が低下

### □ アクロストラנסポート (ファッション物流事業等)

・ 物流センターの新規開設により、新規・既存ともに受託案件の増加と収益性の向上が図られ、計画以上の増収増益を達成

### □ オンワードクリエイティブセンター (商業施設の企画・施工等)

・ オンワードグループ内での設計施工の拡大と新規の外部取引であるデンタルデザイン事業が順調に拡大し黒字化

■ 売上高 201億円 (前年比  $\Delta 5.7\%$  計画比  $\Delta 6.7\%$ )

■ 営業利益  $\Delta 5$ 億円 (前年比  $\downarrow$  計画比  $\downarrow$ )

## 欧州

### GIBO'CO

シューズの受注拡大が図れたものの、今後の拡大のための新規ブランドサンプルの製造コストやショールーム費用の増加等により、売上・利益ともに前年値を下回った

### JIL SANDER

ジル・サンダー ネイビーは小売・卸売ともに計画以上で推移したが、コレクションラインは欧州の小売不振の影響を受けてトータルでは減収となり、上期黒字化には至らなかった

### JOSEPH

エッセンシャルライン(定番品)のMD失敗により、売上構成比70%を占めるジョゼフ商品において売上不振と期末評価損の増加により、粗利益率が大幅に減少し減収減益となった

## アジア

- ・ 中国経済のスローダウンと対日センチメントの影響により、プロパー売上が大幅に減少し在庫増により、粗利益率が低下
- ・ 中国以外のアジアは計画以上に売上拡大が図れ、アジア全体では増収増益となった

## 米国

- ・ 小売事業(J. PRESS)は、Eコマースは伸張したが、直営店の売上減により前年値を下回った
- ・ ICB NYコレクションは、2012年秋冬からの販売に向けた準備が完了
- ・ リゾート事業(グアム)は、日本とアジアからの集客がマーケット水準以上に拡大したことにより稼働率が上昇し黒字化が図れ、増収増益を達成



**売上高**

1,457億円

(前年比 +13.2%)

**営業利益**

106億円

(前年比 +13.8%)

**経常利益**

117億円

(前年比 +7.6%)

国内事業は継続的な収益拡大を図り  
海外事業は計画軸への復帰を図る

# 2013年2月期下期 連結P/L (予想)

(百万円)

	上期実績			下期予想			通期予想			
	02/13	02/12	前年比 (%)	02/13	02/12	前年比 (%)	02/13	02/12	増減	前年比 (%)
売上高	120,886	113,693	6.3%	145,714	128,709	13.2%	266,600	242,402	24,198	10.0%
売上総利益	57,749	53,532	7.9%	70,051	61,581	13.8%	127,800	115,113	12,687	11.0%
売上総利益率 (%)	47.8%	47.1%	0.7%	48.1%	47.8%	0.3%	47.9%	47.5%		0.4%
営業費	54,592	51,933	5.1%	59,408	52,227	13.7%	114,000	104,160	9,840	9.4%
営業费率 (%)	45.2%	45.7%	△0.5%	40.8%	40.6%	0.2%	42.8%	43.0%		△0.2%
営業利益	3,157	1,599	97.5%	10,643	9,354	13.8%	13,800	10,953	2,847	26.0%
営業利益率 (%)	2.6%	1.4%	1.2%	7.3%	7.3%		5.2%	4.5%		0.7%
経常利益	3,722	2,471	50.6%	11,678	10,858	7.6%	15,400	13,329	2,071	15.5%
経常利益率 (%)	3.1%	2.2%	0.9%	8.0%	8.4%	△0.4%	5.8%	5.5%		0.3%
当期純利益	522	76	586.8%	4,478	3,453	29.7%	5,000	3,529	1,471	41.7%
当期純利益率 (%)	0.4%	0.1%	0.3%	3.1%	2.7%	0.4%	1.9%	1.5%		0.4%

# 2013年2月期下期 地域別の予想

## 単純合算（相殺消去前）

(百万円)

売上高	上期実績		下期予想		通期予想		
	02/13	前年比 (%)	02/13	前年比 (%)	02/13	02/12	前年比 (%)
HD+オンワード樺山	73,201	6.9%	85,999	5.5%	159,200	149,985	6.1%
その他国内	34,676	11.7%	38,804	18.6%	73,480	63,745	15.3%
国内計	107,877	8.4%	124,803	9.2%	232,680	213,730	8.9%
欧州	15,278	△9.5%	19,123	10.6%	34,401	34,170	0.7%
アジア	3,101	2.1%	3,649	△5.4%	6,750	6,895	△2.1%
米国	1,758	22.9%	1,838	26.0%	3,596	2,890	24.4%
海外計	20,137	△5.7%	24,610	8.9%	44,747	43,955	1.8%
売上高 合計	128,014	5.9%	149,413	9.2%	277,427	257,685	7.7%

営業利益	上期実績		下期予想		通期予想		
	02/13	前年比 (%)	02/13	前年比 (%)	02/13	02/12	前年比 (%)
HD+オンワード樺山	2,985	64.1%	8,615	11.8%	11,600	9,525	21.8%
その他国内	1,945	27.2%	2,706	38.7%	4,651	3,480	33.6%
国内計	4,930	47.3%	11,321	17.2%	16,251	13,005	25.0%
欧州	△ 685	↘	1,352	△6.4%	667	987	△32.4%
アジア	164	9.3%	90	△50.8%	254	333	△23.7%
米国	0	↗	△ 84	↗	△ 84	△ 207	↗
海外計	△ 521	↘	1,358	△10.8%	837	1,113	△24.8%
営業利益 合計	4,409	50.0%	12,679	13.4%	17,088	14,118	21.0%

## 売上高

- オンワード樺山は、23区/組曲の基幹ブランドおよびジョゼフ/J.プレスレッドレーベル等グローバルブランドの拡大を見込む
- その他国内は、既存 +5.8%、新規バーズグループ + 42億円を計画
- 欧州は、前年は下期に△15.4%の大幅減となったジョゼフグループの回復とジル・サンダー ネイビーの拡大を計画
- アジアは、中国経済のスローダウンと対日センチメントによるマイナス影響を予測

## 売上総利益

- オンワード樺山は、収益性の高い基幹ブランドの拡大とプロパー消化率の向上を図る
- その他国内は、オンワード商事をはじめ既存子会社の粗利益率の向上と新規バーズグループのプラス効果を見込む

## 営業費

- 中長期的成長のための投資は行うが、売上状況に対応した経費コントロールを徹底する
- 新規バーズグループ +18億円

## 営業利益

- 国内事業の継続的な収益拡大と海外事業の改善を計画

■ 売上高 1,248億円 (前年比 + 9.2%)

■ 営業利益 113億円 (前年比 +17.2%)

**オンワード樫山** 売上高 860億円(前年比 +5.5%) 営業利益 86億円(前年比 +11.8%)

## ● 既存組織の構造改革

これからの成長・拡大に向けての全社的な組織改革と新規ビジネス構築を推進

### 下期改革概要

- ① 営業職の業務を明確化し、人員体制の見直しと新規ビジネスや成長事業への配置転換を実施
- ② 販売職からエリアマネージャーを選出し、より売場に近い立場から店舗の管理/運営ができる体制を構築
- ③ オンワード樫山のブランド力やこれまで培ってきたノウハウを活かしながら、新たなビジネスモデルの構築を推進  
(※ 各スキームの詳細は、別紙参照)

## ● 売場の新規+リニューアル/中止(下期レインボー作戦)

(+) 新規+リニューアル 115店舗 ※ 小売型ブランド(15店舗)を含む

(-) 中止 143店舗 ※ 廃止ブランドの売場(10店舗)、閉鎖店舗の売場(55店舗)を含む

## ● 「組曲」の復活

人気女優石原さとみを起用し、10年ぶりのテレビCMをリリース/ 商品戦略の再構築と売場リニューアルを推進

## 国内子会社

売上高 388億円(前年比 +18.6%) 営業利益 27億円(前年比 +38.7%)

### □ オンワード商事 (ユニフォーム・セールスプロモーション商品等)

- ・ 中国や東南アジアにおける自社による生産調達を推進し、継続的な粗利益率の改善を図る
- ・ ユニフォーム・SP事業共に新規大型案件の受注獲得を積極的に行い、来期以降を見据えた事業拡大を推進

### □ チャコット (舞台・演劇・バレエ用品等)

- ・ 国内店舗の新規出店/リニューアルにより、売上拡大を図る
- ・ ニューヨークに直営路面店(クリエイティブヨーコとジョイント)をオープンし、海外戦略を推進 (12月)

### □ クリエイティブヨーコ (ペット関連用品等)

- ・ 駅ビル/ショッピングモールへの新たな戦略による大型ショップやトラフィックチャンネルへの出店拡大を計画
- ・ ニューヨークに直営路面店(チャコットとジョイント)をオープン(12月)

### □ バスストップ (輸入セレクト衣類・雑貨等)

- ・ イベントの開催やデザイナーとのコラボレーションによる新規顧客の獲得、差別化を追求

### □ アイランド (婦人服・雑貨等)

- ・ 大型ショップ(ザ・バンケット)の新規店舗を中心に売場面積を拡大し、在庫コントロールを強化の上、収益拡大を目指す

### □ アクロストランスポート (ファッション物流事業等)

- ・ 輸送業務や物流受託の拡大を図るとともに、新たな拡大のための設備投資を実施

### □ オンワードクリエイティブセンター (商業施設の企画・施工等)

- ・ オンワードグループにおける新規店舗の受注増と新規事業(デンタルデザイン)の拡大を図り売上拡大と下期/通期での黒字化を計画

# 2013年2月期下期 海外事業計画

■ 売上高 246億円 (前年比 + 8.9%)

■ 営業利益 14億円 (前年比 △10.8%)

## 欧州

※ 欧州は11月末決算になります

### GIBO'CO

- ・ 2012年秋冬(5～10月出荷)は受注が減少したものの、2013年春夏(11月～出荷)は再度拡大
- ・ 2013年春夏商品の早期出荷(11月度内)を計画し、収益性を確保

### JIL SANDER

- ・ ブランド認知度の拡大に伴い、ジル・サンダー ネイビーは小売/卸売共に増収計画
- ・ デザイナー変更(ジル・サンダー女史)によるコレクションラインの企画作業の遅れにより、販売納期が来期に期ずれ

### JOSEPH

- ・ エssenシャル商品(定番品)の企画力の強化と商品生産量の精度を高めて収益を改善
- ・ 新規店舗オープン(6店舗)/旧年品在庫の処分/経費削減により、下期は増収増益を計画

※ アジア・米国は12月末決算になります

## アジア

- ・ 中国における新規出店のペースを落として、収益性確保の運営を実行
- ・ 東南アジアを中心に、ヤングカジュアルブランドの売込みを開始
- ・ 上海の物流園区を活用した、ドロップシップを拡大/ローコスト生産の推進を図る

## 米国

- ・ 小売(J.プレス)は、販売体制やイベントの強化によりプロパー売上の拡大を計画
- ・ ICB NYコレクションは、Eコマースやプロモーションの強化により、ブランド認知度の向上を図る
- ・ リゾート事業は、インターネット予約等のサービス向上により稼働率を維持し、通期での増収増益を見込む

## 「DKNY」 ニューコンセプトショップ オープン HEART of DKNY 日本初上陸ラインも展開

ダナ キャラン ジャパン株式会社は、ニューヨークを代表するファッションブランド「DKNY」のニューコンセプトショップ「HEART of DKNY」を2012年9月22日にテラスモール湘南、9月29日にイオンレイクタウンにオープンしました。

DKNYブランドのショッピングモールへの出店は国内では今回が初めてです。

「HEART of DKNY」のコンセプトは "MANHATTAN WEEKEND LIFE"。DKNY C、DKNY KIDSのラインが日本で初めて店頭に並びます。その他にもアクティブウェアを含むDKNY JEANSを中心に、時計・アイウェア アクセサリー・アンダーウェア・雑貨からホームコレクションに至るまで、今までのDKNYショップとは異なるメンズ、レディース、キッズのライフスタイル提案型ショップです。

ハイラインをイメージした店内にはニューヨークの街の映像がライブ風流れ、ニューヨークの街中を歩いているかのようです。その他にも店内に流れる音楽や香りなど、ニューヨークを肌で感じながらお買い物をお楽しみ頂くことができます。



# DATA BOOK

# 主要連結子会社の業績・設備投資・減価償却

## <主要連結子会社 売上高> ※単純合算 相殺消去前

(百万円)

主要連結子会社	事業概要	売上高									営業利益					
		02/13 上期実績		02/13 下期予想		02/13 通期予想			02/13 上期実績		02/13 下期予想		02/13 通期予想			
		金額	増減比	金額	増減比	金額	増減	増減比	金額	増減比	金額	増減比	金額	増減	増減比	
国内	オンワードHD オンワード樺山	グループの中核会社 紳士服・婦人服・子供服・きもの等の製造販売	73,201	6.9%	85,999	5.5%	159,200	9,215	6.1%	2,985	64.1%	8,615	11.8%	11,600	2,075	21.8%
	オンワード商事	ユニフォーム・SP商品等の製造販売	7,799	4.9%	7,229	3.5%	15,028	610	4.2%	678	78.4%	432	30.9%	1,110	400	56.3%
	チャコット	舞台・演劇・バレエ用品等の製造販売	5,407	6.8%	5,280	4.2%	10,687	560	5.5%	442	8.1%	329	15.8%	771	78	11.3%
	クリエイティブヨーコ	ペット関連用品や和み系雑貨の製造販売	3,360	△0.5%	4,402	1.8%	7,762	63	0.8%	149	50.5%	608	△2.9%	757	32	4.4%
	アイランド	婦人服ブランド「グレースコンチネンタル」 の製造販売	4,064	4.9%	4,636	7.5%	8,700	512	6.3%	656	△4.4%	944	10.3%	1,600	58	3.8%
	アクロストランスポート	衣料品配送を含むファッション物流事業の運営	5,647	1.8%	5,853	1.2%	11,500	170	1.5%	89	34.8%	93	△7.9%	182	15	9.0%
	オンワード クリエイティブセンター	商業施設等の企画・設計・施工	1,797	28.4%	1,920	15.3%	3,717	653	21.3%	20	↗	22	175.0%	42	67	↗
海外	オンワード リゾートグループ	リゾート施設・ゴルフ場等の運営管理	1,932	20.5%	1,948	14.4%	3,880	574	17.4%	102	↗	32	↗	134	256	↗
	ジョセフグループ	イギリスのブランド「JOSEPH」の製造販売 セレクトショップ事業の運営	3,808	△10.3%	4,954	21.7%	8,762	450	5.4%	△482	↘	480	34.1%	△2	△96	↘
	ジボ・コーグループ	欧米のデザイナーズブランドの衣料品・雑貨等 の製造・卸売・OEM等	6,529	△9.1%	7,964	2.9%	14,493	△425	△2.8%	311	△18.8%	870	△2.6%	1,181	△95	△7.4%
	ジルサンダーグループ	ドイツのブランド「JIL SANDER」の製造販売	4,409	△10.0%	5,585	12.2%	9,994	118	1.2%	△517	↗	△44	↘	△561	△128	↘

※ 事業セグメントの営業利益に近づけるため、一部子会社が含まれていた「のれん代」を当前期共に除いております。  
これにより、全ての子会社において「のれん代」が含まれておりません。

## <設備投資>

(百万円)

	02/07	02/08	02/09	02/10	02/11	02/12	08/12	02/13 予想
連結	10,506	9,566	4,178	5,794	5,405	6,230	3,179	7,900
HD+樺山	8,046	5,255	2,470	3,273	3,232	3,320	1,614	4,700

## <減価償却>

(百万円)

	02/07	02/08	02/09	02/10	02/11	02/12	08/12	02/13 予想
連結	6,697	7,340	5,986	5,747	5,642	5,478	2,652	5,800
HD+樺山	4,890	5,109	4,639	3,764	3,590	3,374	1,573	3,500

# <オンワード樫山> 品種/チャネル別 実績・予想

## <品種別>

(百万円)

	02/13 上期実績			02/13 下期予想			02/13期 通期予想			
	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	構成比
紳士服	16,779	15,767	6.4%	20,981	20,549	2.1%	37,760	36,316	4.0%	23.7%
婦人服	50,234	46,861	7.2%	58,336	54,629	6.8%	108,570	101,490	7.0%	68.2%
子供服	3,002	2,791	7.6%	3,848	3,578	7.5%	6,850	6,369	7.6%	4.3%
和装	877	846	3.7%	853	749	13.9%	1,730	1,595	8.5%	1.1%
その他	2,309	2,190	5.4%	1,981	2,025	△2.2%	4,290	4,215	1.8%	2.7%
合計	73,201	68,455	6.9%	85,999	81,530	5.5%	159,200	149,985	6.1%	100.0%

## <チャネル別>

	02/13 上期実績			02/13 下期予想			02/13期 通期予想			
	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	構成比
百貨店	55,237	52,294	5.6%	66,573	63,285	5.2%	121,810	115,579	5.4%	76.5%
新流通	14,084	12,174	15.7%	15,636	14,187	10.2%	29,720	26,361	12.7%	18.7%
専門店	2,119	1,963	7.9%	2,501	2,374	5.3%	4,620	4,337	6.5%	2.9%
チェーンストア	264	369	△28.5%	366	403	△9.2%	630	772	△18.4%	0.4%
その他	1,497	1,655	△9.5%	923	1,281	△27.9%	2,420	2,936	△17.6%	1.5%
合計	73,201	68,455	6.9%	85,999	81,530	5.5%	159,200	149,985	6.1%	100.0%

## <百貨店・新流通の売場面積の推移>

		02/06		02/07		02/08		02/09		02/10		02/11		02/12		08/12		02/13予想	
		売上高(百万円)	増減比	売場面積(m <sup>2</sup> )	増減比	売上高(百万円)	増減比	売場面積(m <sup>2</sup> )	増減比	売上高(百万円)	増減比	売場面積(m <sup>2</sup> )	増減比	売上高(百万円)	増減比	売場面積(m <sup>2</sup> )	増減比	売上高(百万円)	増減比
百貨店	売上高(百万円)	139,376	4.0%	148,911	6.8%	148,608	△0.2%	135,031	△9.1%	119,663	△11.4%	119,051	△0.5%	115,579	△2.9%	55,237	5.6%	121,810	5.4%
	売場面積(m <sup>2</sup> )	174,310	△0.4%	182,480	4.7%	175,200	△4.0%	173,500	△1.0%	165,800	△4.4%	162,105	△2.2%	159,682	△1.5%	164,760	3.6%	158,702	△0.6%
新流通	売上高(百万円)	30,064	2.5%	32,138	6.9%	33,263	3.5%	32,066	△3.6%	28,218	△12.0%	27,160	△3.7%	26,361	△2.9%	14,084	15.7%	29,720	12.7%
	売場面積(m <sup>2</sup> )	92,190	5.4%	95,830	3.9%	93,060	△2.9%	92,400	△0.7%	86,900	△6.0%	85,567	△1.5%	84,500	△1.2%	86,358	3.1%	84,509	0.0%

# ONWARD

## ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。  
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、  
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。  
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を  
負いませんのでご承知おきください。